

2021年11月

2021年度

四万十町地域イノベーター養成講座

第4回 ビジュアルレポート

高知大学 地域協働学部
コミュニティデザイン研究室

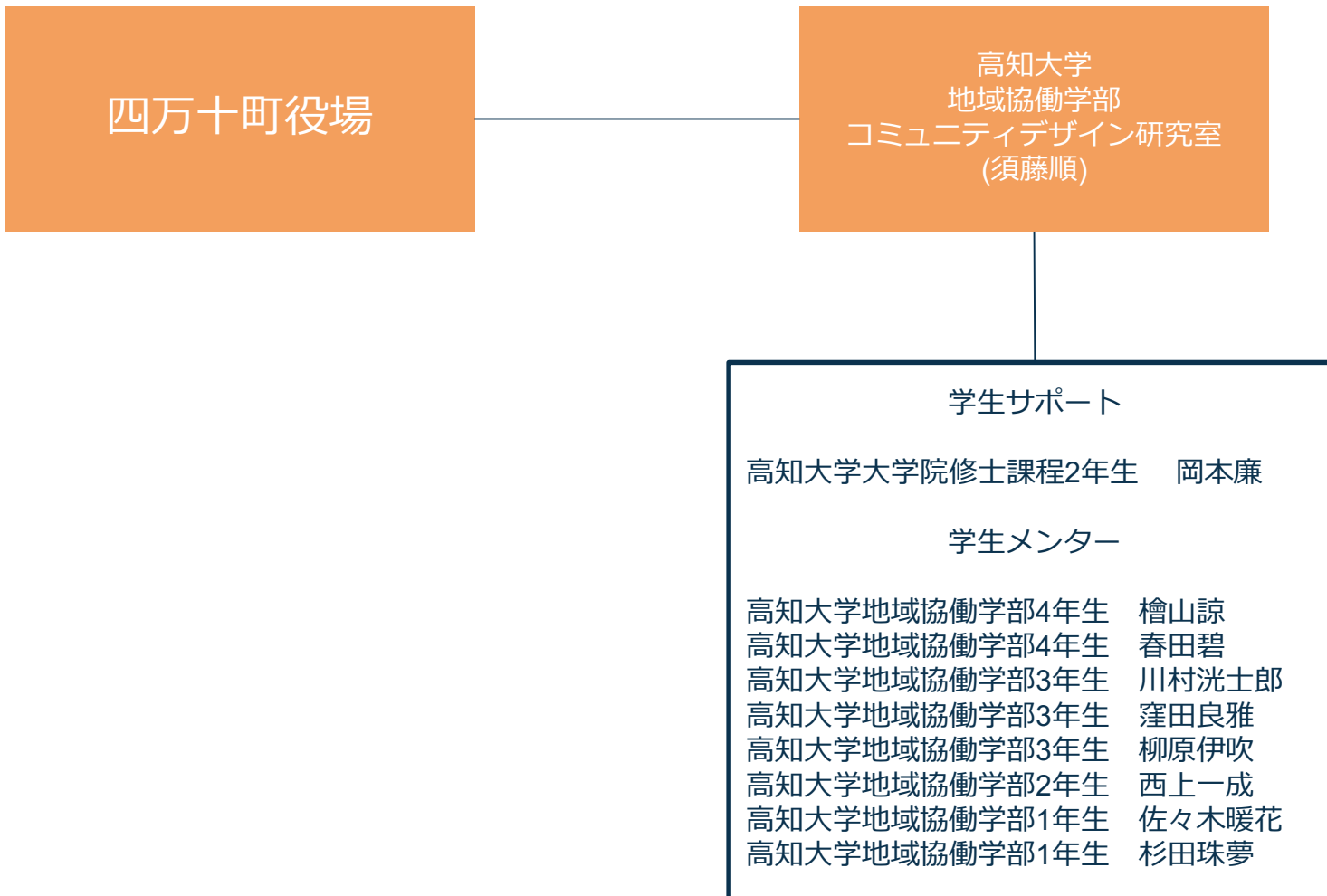
実施概要

- 日 時：令和3年11月6日（土） 11時00分～17時00分
- 会 場：四万十町農村環境改善センター
- 主 催：四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- 実施内容：「地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をして良いのかわからない」そういった方々を対象に全6回の地域イノベーター養成講座を開催。
一人ひとりが自分事として、地域課題解決や活性化を目指す「チャレンジする人材」の学びの場。

【タイムライン】

Time	Theme	Contents
11:00-12:00	チェックイン	・ マイプロに関する共有
12:00-13:30	昼食	
13:30-15:00	キーノートスピーチ	・ 小笠原舞 氏（asobi基地 代表／合同会社こどもみらい探求社）
15:00-16:50	リーンキャンバス LSPワーク	・ レゴ®シリアスプレイ®を活用したワーク
16:50-17:00	チェックアウト	・ 次回までのスケジュール・課題確認

実施体制



**1人ひとりが自分事として、
地域課題解決や活性化を目指す
「チャレンジする人材」の学びの場**

目指すべきゴール

1

一人ひとりが自分の経験の中から、自分自身のミッション（使命）を見つけ出す

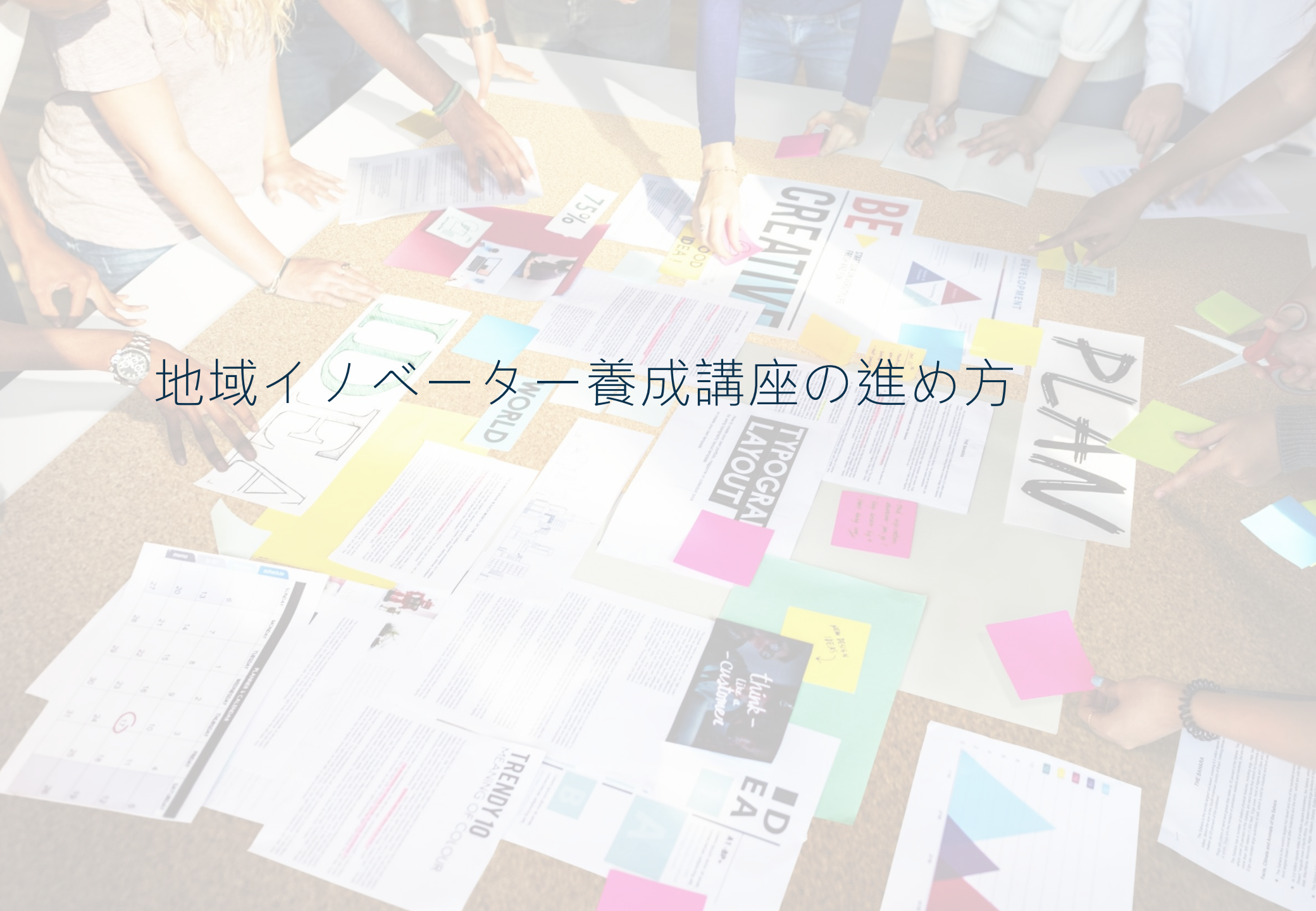
2

“ジブンゴト”で取り組むことができるプロジェクトを自分自身で生み出す

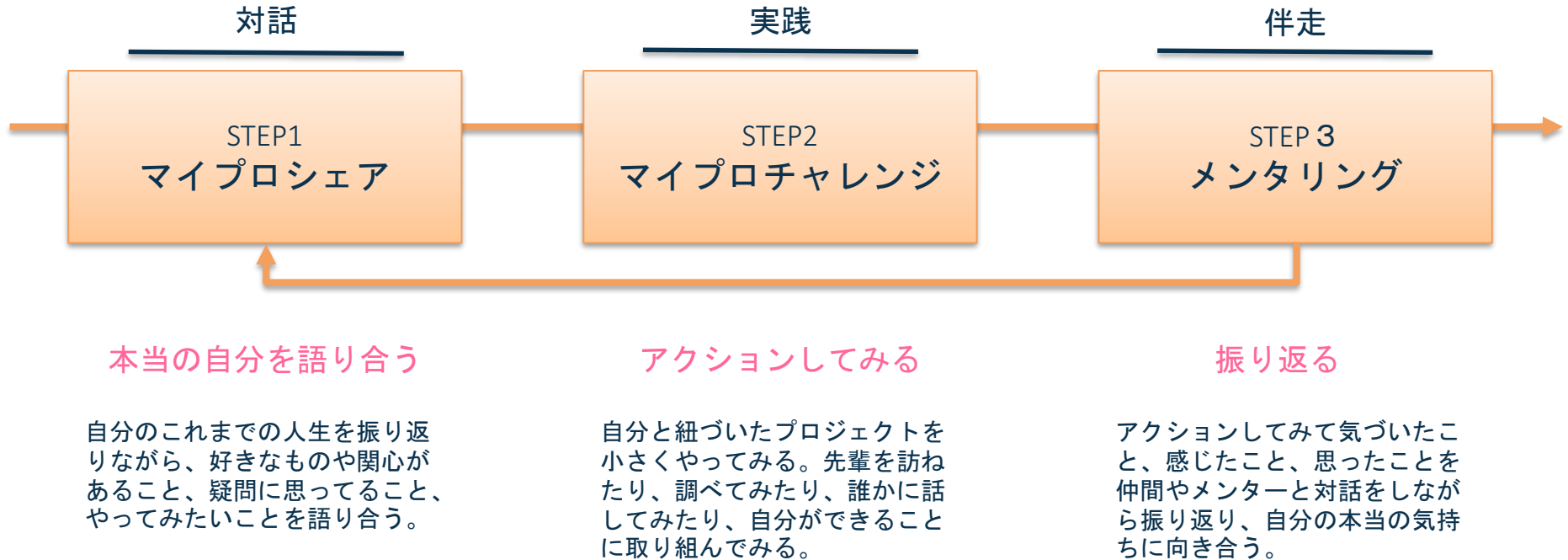
3

ジブンゴトのプロジェクト（マイプロジェクト）に取り組む仲間同士がともに切磋琢磨しながらも支え合う関係を創る

地域イノベーター養成講座の進め方



進め方（概略）



2つのシートを使って対話とアクションを繰り返していきます！

マイプロ Me編	名前 (ニックネーム、読んでほしい名前、その由来)	作成日： 場所：
似顔絵・写真	みんなが知らない自己紹介	
自分ストーリー 昔 (～小学校)	人生グラフ：横軸は年で、縦軸はイキイキ度(幸せ度)。人生で輝いていた時、沈んでいた時を見る化しよう！	
(～中学・高校)		
(～専門・大学)		
(～現在)	みんなが知らない自慢・一発芸・得意技	
今		

マイプロジェクトの源泉へ

← me編シート

- ・自分のライフストーリーや好きだったこと、楽しかったこと、つらかったことなど
- ・自分の人生をグラフにしてみる
- ・普段見せない自己紹介

PROJECT編
わたしのプロジェクト(マイプロジェクト)を一言で！
■実践したいプロジェクトの概要

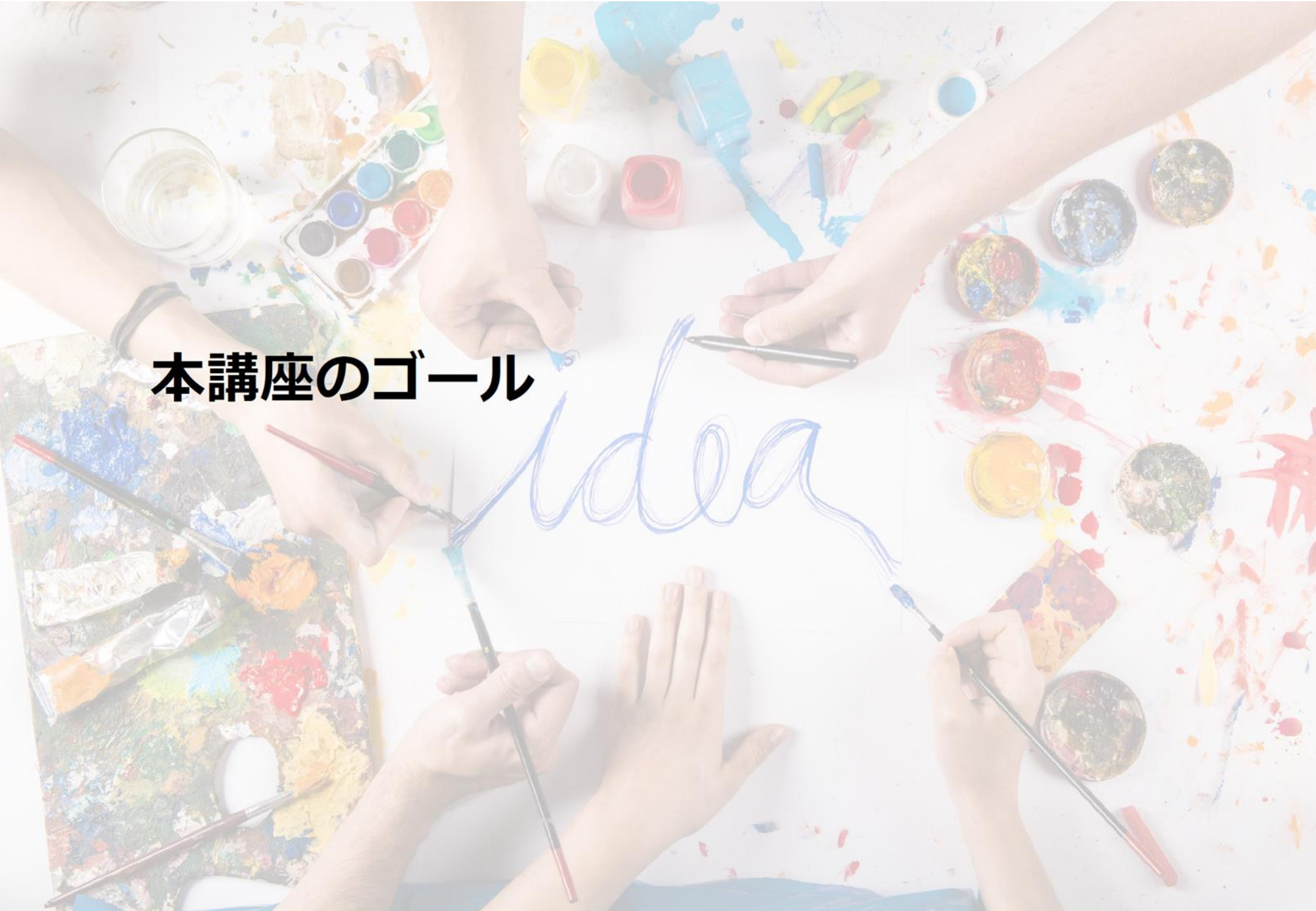
project編シート→

- ・自分と紐づいたプロジェクトを書き出す
- ・それは誰にどんな価値を生み出すのか

■「やってみたい！」と思った、理由や背景、原体験	■「誰」にどんな価値を生み出しますか？
--------------------------	---------------------

本講座のゴール

idea



- 1** **自分が情熱を傾けられるモノ・コトを自分の経験の中から見つけ出す**
- 2** **「アクションしながら学びを得る」ことを意識し、徹底して、行動と対話を繰り返す**
- 3** **自分らしいと思えるプロジェクトを描き、自然体で向き合える仲間づくりを行う**

場のルール

Growth

Vision

Resea

Business

Success

Marketing

Sup

Cro

場のルール

- 1 安心・安全の場をみんなで創ろう
- 2 ありのままの自分を素直に出そう
- 3 仲間・プロジェクトを評価しない
- 4 プロジェクトは変わってOK
- 5 お互いに貢献し合う

マイプロジェクトとは？

自分に基づいた (My)

「何かを、プロジェクトの形にして (pjt) やってみる」
ことから始まる、自分や世の中の変化の物語

自らの経験の中から、
自分のミッションを生み出していく

講座の様子



チェックイン

今回のチェックインでは、それぞれプロジェクトの進捗に関する共有を普段より丁寧に行った。プロジェクトの概要や、「そのプロジェクトをあなたがやる理由は？」という問いに対して一人ひとりが話した。その後、受講生と学生メンター同士でペアをつくりお互いのプロジェクトを共有し、アドバイスし合う時間を設けた。会話の中で自分自身の考えが整理され、話が進行していく様子が見受けられた。



チェックインについての説明



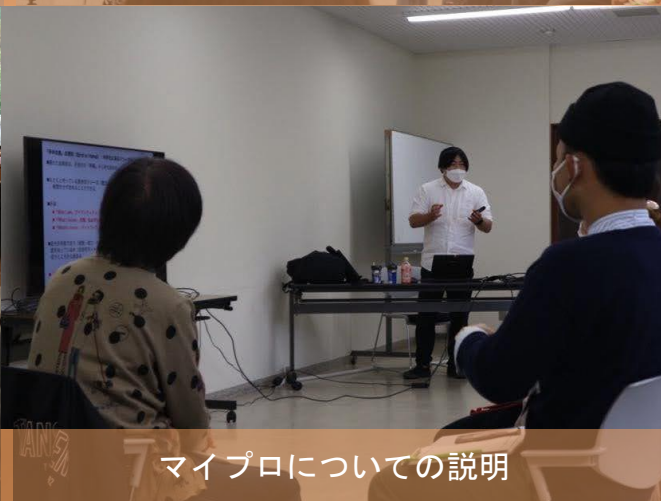
プロジェクトについて語る受講生



会場の様子



受講生の様子



マイプロについての説明



プロジェクトについて語る受講生

キーノートスピーチ

キーノートスピーチでは、小笠原舞氏より「未来の姿を想像する」についての講義が行われた。

小笠原舞 (asobi基地 代表/合同会社こどもみらい探求社)

大学では福祉を学び、社会人経験を経て、保育士となる。こどもたちから得た学びを広げることが、「Well-being=誰もがよりよく生きる社会」につながると思い活動中。2012年子育てコミュニティ asobi基地をつくり、全国に仲間を作って支部を増やし続けている。2013年には「合同会社こどもみらい探求社」を設立。2020年には、自主事業「おやこ保育園」をオンライン化し、全国の親子を対象に新しい子育て支援の形を作っている。

著書：「いい親よりも大切なこと～こどものために“しなくていいこと”こんなにあった～」プライベートでは、神戸市長田区の下町情緒と多様なあふれる人々とのつながりの中で、夫と子ども(3歳)・柴犬との暮らしを楽しんでいる。

◆他の家族とつながる空間

保育士資格も持つ小笠原氏は、現場に様々な課題が蓄積していることを実感し、子どもにとって本当にいい社会とは？という問いを持つ。そこで、たくさん子どもを知りたいと考え、家族だけではないつながりを作ることを目的として、親御さんがゆるく楽しみながら活動できる「asobi基地」を始めた。「asobi基地」では、家族単位ではなく、家族同士をつなげることを意識してスタッフは対応しており、心を許せる空間をつくっている。コロナ禍で一時中断した場所もあったものの、現在も継続的なコミュニティとして、各地で開催されている。

◆生きることを親子で楽しみ、育ち合う保育園

孤立した子育てや産後うつといった課題に対して、保育園以外でなにか出来ないかと考えた小笠原氏は、保護者が保育士と一緒に子どもを見ながら子育てスキルを学べる「おやこ保育園」も実施。子育てに関するレクチャーやお悩み相談などの活動をしている。「おやこ保育園」はオンラインでも開催され、海外や地方からの参加もあり、他家族とのつながりの範囲は想像をはるかに超えて拡大した。子どもも大人も大事にすることを大切にしており、この場では、母親も頑張らなくていい、息抜きが出来る場にする事で、結果として夫婦で話す時間が増え、子どもにとっても良い影響があるという。

◆1家族で子どもを育てられる世の中ではない

子育ては1家族でするものではないという考えを持っている小笠原氏は、様々な人と関わり合いながら作る社会が出来上がっている神戸市長田区に惹かれた。地域の人とつながる社会を作りたいという思いから、自分の家を開放し、拡大家族をつくることに踏み出した。暮らしの中で人の集まる空間を活動の一貫としてではなく、暮らしの一貫として創造することを狙いとしている。多くの人とつながる社会の中で、違いに触れるということが、子どもが今後タフに生きることが出来る要素だと考えている。



キーノートスピーチの様子



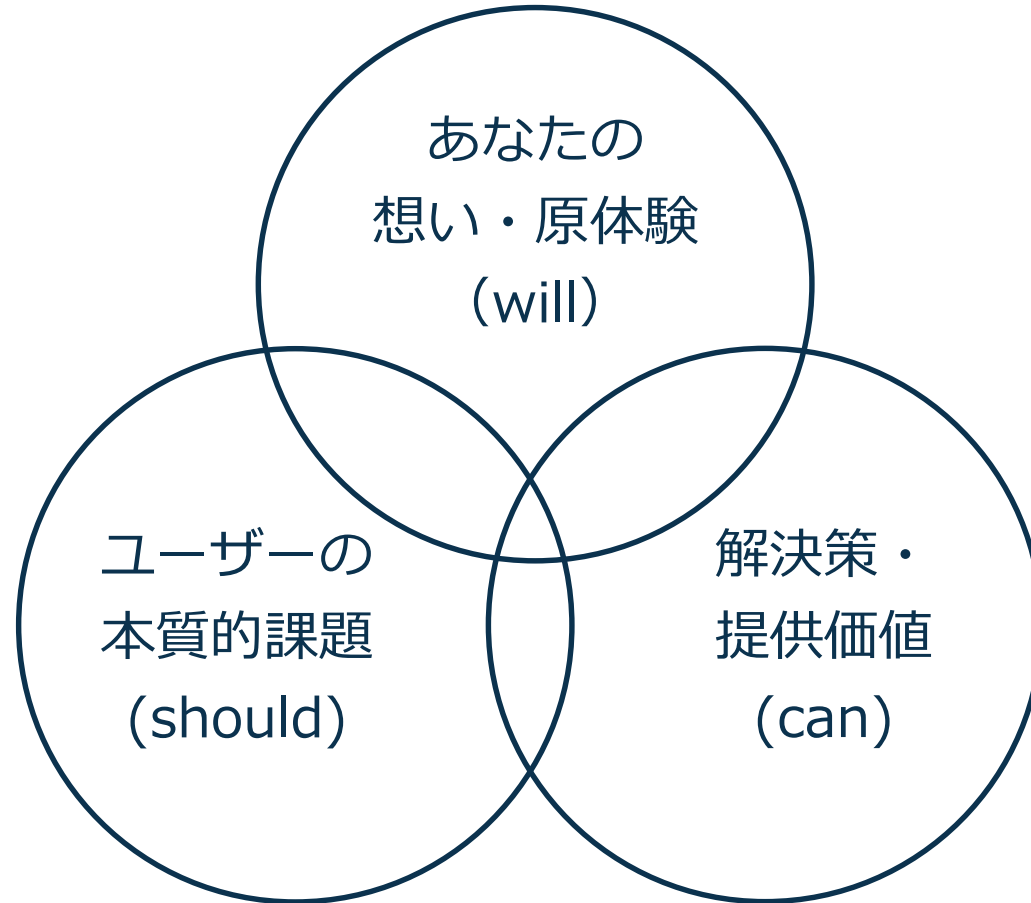
メモを取る受講生

リーンキャンバス・LSPワーク

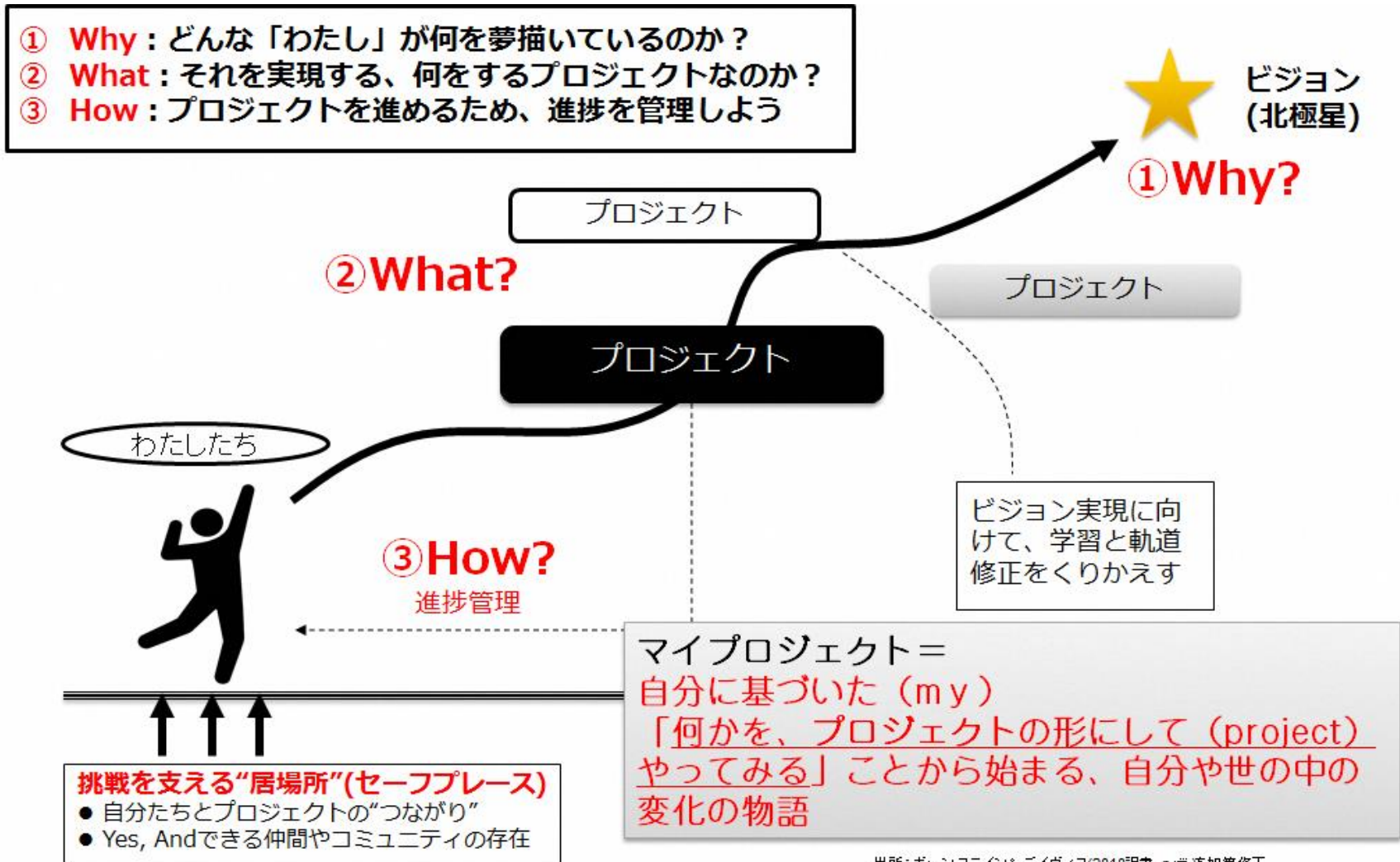
リーンキャンバスについての説明を高知大学の須藤が行った後、各プロジェクトのリーンキャンバスをそれぞれがレゴを利用し表現した。リーンキャンバスの7つの要素の中でも、課題、顧客セグメント(顧客の分類)、提供価値の3つをレゴを用いて作成した。受講生は自分のプロジェクトと向き合いながら作品の制作に熱中しており、質問も積極的に行っていた。



ポイント：徹底して自分のwillに向き合う



ポイント：プロジェクトを通じて自分の行先を見つける



出所：ボーンSTEIN& デイヴィス(2010)訳書, p.100 追加筆修正
 ※ 井上英之作成

問い合わせ先

四万十町役場 人材育成推進センター

担当：横山 光一・吉村 愛

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

TEL 088-022-3163 FAX 088-022-3123

E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：准教授 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL 088-788-8077 FAX 088-888-8043

E-mail j.suto@kochi-u.ac.jp

Web <http://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。